

令和3年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：情報処理	授業コード：11050
担当教員氏名	大井慈郎
<p>まず、数多くの学生が、自由回答の欄に授業に対する好意的なメッセージを書いてくれたこと、素直にうれしく思います。ありがとうございます。</p> <p>全学生が課題を全て提出してくれましたし、ほとんどの学生が無遅刻無欠席であったことから、学生側もしっかり取り組んでくれていたと思います。</p> <p>引用や文献の方法については、もう少し時間をとってほしい学生のコメントが見受けられます。これらは引き続き基礎ゼミなどで学んでください。</p> <p>授業のスピードに関しては、授業展開の方法が、何度も繰り返して慣れることを目標にしています。1回目で追いつけなくても2回目、3回目と繰り返していますし、ビデオで振りかえることもできるようになっています。安心感をもたれすぎても困りますが、授業展開の方法について重ねて説明していきたいと思います。</p> <p>パソコンの起動時間や通信状況については、大学の設備の問題ですが、改善の要望はこちらからも出しておきたいと思います。</p>	

授業科目名：人間と心理	授業コード：12030
担当教員氏名	青山 慶
<p>成績における最終試験の配分が大きいこともあるためか、小テストや課題を出してほしいという要望があった。授業内での課題は毎週出していたが、授業外での作業が生じるような課題も設定することを検討したい。</p> <p>パワーポイントをモノクロで印刷資料として配布したが、文字に色を付けてほしいという意見があった。恐らくカラー印刷は難しいため、モノクロ印刷でも重要な点などがわかりやすくなるよう留意したい。</p> <p>座席に関して改善の要求もあった。基本的には座席指定のようだが、特段の理由がある場合には、適宜着席場所について講師に相談するようにアナウンスしたい。</p>	

授業科目名：暮らしの科学	授業コード：13020
担当教員氏名	菅原尚史
特記事項なし	

授業科目名： 暮らしの科学	授業コード：13020
担当教員氏名	川崎 敏
<p>暮らしを生理学から考えることを目的としていましたが、根底から理解してもらいたいという思いからほとんど生理学の講義で終わってしまいました。反省すべき点です。内容に対しては肯定的な意見が多い反面、難しいという意見も多かったようです。一部、掘り下げようとしたことが原因かもしれませんが、もっと、生理学や物理学の知識をもとにして、暮らしの方に視点を向けた内容にすればよかったと思います。</p>	

授業科目名：看護学概論	授業コード：31010
担当教員氏名	長谷川幹子
<p>全体的に評価が高く、特に「教員の意欲」に関する項目は4.0と最高点でした。授業（教育）も看護と同様に相互作用であり、この結果は、授業に対するみなさんの意欲的な態度がもたらした結果だと考えます。</p> <p>また、自由記述においては、「看護とは何か」、「看護師としてのあり方」などを考えることができたという記述が多くみられ、看護専門職としての実践の基盤となる個々の看護観を育むことができたのではないかと考えます。今後も、みなさんが看護に興味・関心を深め、意欲的に学習を継続できるような授業を目指していきます。</p> <p>改善する点としては、適切にマイクを使用し、声が聞き取りやすい状態を維持できるよう努めていきたいと思います。また、グループ学習においては、さらなる学びの共有にむけて他グループの学修成果に関する資料の配布も検討したいと思います。</p>	

授業科目名：基礎看護援助論	授業コード：31030
担当教員氏名	長谷川幹子、作間弘美、野中みつ子
<p>本科目では、看護技術の特徴および看護技術の基本的な概念、そして、すべての看護援助に共通する技術を学びました。全体的に評価は高く、自由記述では「看護をするにあたって大事にしなければならないことを多く学ぶことができた」、「今の自分が目指したい看護を改めて考えることができた」という内容の記述が多く、看護技術の知識を学び、実際の技術を体験することで、看護学生としての意識の高まりを実感していることが伝わってきました。</p> <p>今後は、みなさんが十分に準備をして演習に臨むことができるよう、演習要項や事前学習課題を早めに提示するよう努めます。また、前期は複数の科目を同じ教員が担当する科目が多かったこともあり、自由記述からも科目の区別化がやや困難であったことが推察されましたので、資料に科目名を明確に記載するなどの工夫をしていきます。</p>	

授業科目名：ヘルスアセスメント	授業コード：22070
担当教員氏名	長谷川幹子、作間弘美、野中みつ子
<p>全体的に評価が高く、自由記述には、看護におけるヘルスアセスメントの知識・技術について学ぶことができ、その重要性についても理解することができたという記述が多くありました。このことは、本科目が効果的な講義と技術演習の組み合わせであったことを示していると考えます。</p> <p>しかし一方で、「予習・復習などの自己学習」の項目が3.7で最も低い評価であったことから、予習・復習内容の明確化やそれらの重要性についての説明の強化が必要だったと思いました。</p> <p>今後も、みなさんが主体的に予習・復習・自己練習を繰り返し、看護におけるヘルスアセスメントの知識・技術を修得できるような授業内容や方法を検討していきます。</p>	

授業科目名：環境生態学	授業コード：21020
担当教員氏名	竹原明秀
<p>「この授業科目で得たものは多かったか」という質問に対して、授業評価がやや劣っていたことから、看護学生にとって生物の生態や環境の内容では直接役立つ事柄が少なく、物足りないと感じた結果だと思われます。環境に関して、看護と関連する部分を増やし、人間－環境の関係を強化する内容に変える予定です。また、学生の発言の時間を増やすように、設問形式の資料も加えていくことも考えていきます。</p> <p>学生への課題を小テストとレポートとしましたが、レポートをまとめる時期が期末試験と重なり、提出時期や評価方法を検討しますが、難しい問題だと考えています。加えて受講する学生を増えるよう、シラバスの内容やわかりやすさなど、改善していきます。</p>	

授業科目名：形態機能学（解剖学）	授業コード：22020
担当教員氏名	遠山 稿二郎
<p>最初にお願いがあります。授業中、分かりにくい、聞き取りにくい場合、<b>必ず質問してください。</b><u>その場で解決しましょう。</u>理解できない事は「恥」ではありません。私の役目は、皆さんに理解してもらうことです。授業を中断しても構いません。</p> <p>皆さんが本科目に対して真摯に取り組み課題レポートを含む予習・復習を実行されてきた自覚があると拝見します。皆さんが指摘した教材活用の取り組みの問題点については、「コロナ禍」という特殊状況の為、例年行っていた解剖模型の回覧を取りやめたことは残念です。今後、機会を見て、補足できるといいのですが。</p> <p>毎回提出されたレポートは、個人差が大きく、あまり有効に活用されそうもない内容のものもありましたが、優れたものは、ほぼ、そのまま、今後、役に立てそうな内容でした。課題の設定について評</p>	

価が低いようです。吟味したいと思います。

ただ、広く基礎的な知識を様々な視点から身に着ける科目なので、「国家試験」対策的に、一門一答形式での整理・理解だけではこの目的を達成するには不十分であることも理解してください。

授業科目名：形態機能学（生理学）	授業コード：22020
担当教員氏名	田中 裕二
ZOOMによる遠隔講義のため、なかなか学生からの反応を得ることは難しいですが、Google機能をうまく活用したいと思います。	

授業科目名：自然科学	授業コード：21010
担当教員氏名	川崎 敏
<p>最初に話したように、講義の目的は、物理の法則がどのような観察と思考によって導かれたかを知ること、それら原理・法則に基づいて身近な現象や医療・看護技術を論理的に説明すること、です。できるだけ数式を使わず、概念的にわかりやすく説明することを心がけ、学生にもそれを求めました。多くの問題を与え、考える時間をつくり、他の学生と話し合う時間も作りました。アンケートの感想をみると、ほとんどの学生が肯定的な感想を述べており、ある程度目的は達成できたかなと感じています。</p> <p>改善してほしいという感想は、プロジェクターの光で板書が見えにくい、問題に対する解説を詳しくしてほしい、の二点のようです。前者については、すぐに指摘してくればよかったです。今後はスクリーンの脇に板書用のホワイトボードを用意したいと思います。後者については、学生が自分の言葉で説明ができるよう意図的に要点だけを書きました。しかし、読んで理解できるような詳しい解説例を配布してもいいのかもしれないかもしれません。検討します。</p>	

授業科目名：英語II	授業コード：11030
担当教員氏名	Lester Ng
<p>Thank you for all your hard work!</p> <p>It has been a pleasure speaking English with you and teaching you English! It was great getting to know you all and listening to your presentations.</p> <p>Best of luck in your future endeavors!</p>	

授業科目名：家族という社会	授業コード：13040
担当教員氏名	相澤 出
<p>現代の日本社会の家族についての基本的な知識、家族を理解するための視点を学ぶ本講義は、一般教養科目ではあるが看護とも密接に関わる科目です。受講者の受講態度は概ね良く、試験の結果からも、大半の受講者が講義内容の基礎を学習していたことがうかがわれました。講義の改善点として複数の受講者から指摘があったのが、スクリーンの資料が見えにくいというものでした。資料が少しでも見えやすくなるように、工夫をしていきます。それと、講義内容なのか雑談なのかが判然としていない部分があったとの指摘がありましたが、もちろん講義内容に関係のある雑談なので、どのような講義内容とのかかわりがあるのかを考えてもらえるとありがたいです（とはいえ、まずは講師としても、受講者の皆さんの理解が進むことが優先事項ですので、この点の改善もして、より分かりやすい講義を実現していこうと思います）。</p>	

授業科目名：憲法	授業コード：13050
担当教員氏名	菊地 洋
<p>コメントを拝見しました。受講していただいた皆さんには、満足（いや楽しんで）いただいたようで、私としても嬉しいです。</p> <p>この講義を通じて、私たちの普段の生活に、日本国憲法で掲げられた理念があちらこちらに息づいていることを理解してほしいと考えていました。そのため、ニュース映像などを用い、わかりやすい講義を目指していました。ただ、PowerPoint に写真を取り込んだり、図示したりするのは苦手で、文字ばかりのPowerPoint になってしまったのは申し訳ないです。グラフや表の作成、図示などは、今後の課題なのでしょうね。また、コロナ禍ゆえ、裁判傍聴ができませんでした。可能であれば、来年度には実施したいですね。</p>	

授業科目名：看護過程論	授業コード：32020
担当教員氏名	木内千晶、石井真紀子、長谷川幹子、大谷良子、下野純平、作間弘美、秋本和宏、齋藤史枝、佐藤恵、野中みつ子
<p>全体的に良い評価で、学生の皆さんは熱心に看護過程の展開に取り組んでいました。看護過程論は短期間での過密な時間割となっていますが、課題は遅れることなく進めることができました。昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染予防のため個人ワークとし、担当教員が各担当学生のところを巡回する方式で個別指導を行いました。グループワークが行えず学生同士の意見交換の機会は少なくなりましたが、その分、担当教員には積極的に質問をし、理解を深めようとする姿勢がみられました。学生からの個別の質問に対しては、学生全員が理解できるよう全体に回答を伝えるよう改善していきたいと思えます。看護過程の書き方の具体例を求める意見がありましたが、配布資料や教科書に書き方が示されています。答えを示すような具体例は考える力が養われませんので、図書館</p>	

の参考書なども活用し、自ら考えることを大切にしたいと思っております。期限や時間に余裕が欲しいという意見も認められました。これまでは、実習までに授業を終える必要があり、短期間での開講となっていました。次年度からは実習時期が変更となるため、開講時期の問題は解決される予定です。

授業科目名：看護倫理	授業コード：31070
担当教員氏名	石井 真紀子、清水 哲郎、濱中 喜代
<p>この授業で取り上げた倫理については、理解するのに難しい面もあったかもしれませんが、アンケートの結果から、皆さんなりに看護倫理を理解してくれたと思っています。アドボカシーやパターンリズム、またケア・スピリットについても理解が得られているようでした。事例検討のためのグループワークについても概ね皆さんにとって有意義であったと理解しております。その一方で声が聞き取りにくい、内容が難しく理解しにくい、という意見もありましたので、改善に向けて担当している教員間で検討します。またレポート課題の提示については、今後は授業が開始する時点で公表したいと考えています。いずれも貴重な意見をありがとうございました。今後の授業の改善に活かしていきます。</p>	

授業科目名：疾病治療論 II	授業コード：22050
担当教員氏名	高谷俊一
<p>可能な限り スライドを作成して わかりやすく授業するよう努めます。</p>	

授業科目名：小児看護学概論	授業コード：32210
担当教員氏名	濱中喜代
<p>2年生から回答を得た結果、3.65～3.86の範囲で総合評価も3.81の好評価であった。自由記載においては小児および小児看護学について理解が深まったとの意見が多かった。自分たちで小児に関するテーマを決め、調べ学習をして発表する取り組みのお陰で、より興味を持って学習に取り組むことが出来たとの意見があったので、この形式は継続したい。また改善してほしいことの中に、スライド関連の希望が多かった。教室を大きく使用していることも見えにくさの要因と考えられる。スライドの資料を毎回 classroom で配信してもらえるとありがたいという希望に沿うようにしたい。</p>	

授業科目名：母性看護学概論	授業コード：32170
担当教員氏名	江守陽子
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間出す課題を評価の対象にしてもらいたいとの意見がありましたが、何でもかんでも評価の対象にされるほうが嫌ではないのですか。または、評価の対象でないと課題をやらないというのも変ではないのですか。課題は、授業科目をよりよく理解しやすいためにと考え、出しているものです。もちろん、課題をこなすことによって、ペーパーテストの成績にも反映すると考えています。あなたは、課題を評価の対象にしないのであれば、課題をやる意味がないというお考えなのでしょうか。</li> <li>・資料はクラスルームに事前に届けてありますが、印刷物で配布してほしかったということでしょうか。印刷物のほうが良く学習できるのならば、ご自分で事前に印刷して授業に参加してください。</li> <li>・確かに母性看護学領域のテクニカルタームは多すぎると私も思います。しかし、看護学生はそれを覚えなければなりません。頑張ってください。また、テスト範囲が広くて勉強しきれないと泣き言をいう前に、計画的に時間をかけて勉強してください。教員にテスト範囲をプリントにまとめて配布することを要求する前に、自分で学んだことをプリントにまとめてはいかが？</li> <li>・今後も見やすくわかりやすい資料作りに努めます。</li> <li>・限られた講義時間内で、すべてのテクニカルタームを説明することはできません。学生として、自分で調べて理解する努力をしてください。</li> </ul>	

授業科目名：療養援助技術論	授業コード：32010
担当教員氏名	長谷川幹子、作間弘美、野中みつ子
<p>全体的に評価が高く、学生みなさんも熱心に講義・演習に参加していたと評価できます。特に、自由回答においては、技術の習得、根拠の理解ができたと記載している人が多くみられました。療養援助技術論は、演習時に学生数を大きく2グループに分け、教員1名が学生7～8名を担当し、少人数制で演習指導を行っています。このことが、高い評価につながっていると考えられますので、今後もこのような方法を継続していきたいと思います。また、この結果は、皆さんが事前学習や復習をしっかり行ったことにより学習効果があったものと考えていますので、これからも続けてほしいと思います。</p> <p>改善点としては、教員間の技術共有、技術試験の実施方法についての意見がありましたので、演習方法を教員間でさらに確認・検討し、より良い指導に改善していきたいと思います。</p>	

授業科目名： 臨床栄養学	授業コード：22090
担当教員氏名	加藤哲子
<p>声が聞き取りづらかった、もっとわかりやすく説明してほしい、資料をもう少し詳しく書いて欲しい、黒板の字が見えにくかったというご意見ご要望がありましたので、話し方、配付資料の内容、板書の仕方などを工夫します。</p> <p>毎回1人ずつ小テストを取りに行くのは少し効率が悪いかなと思ったとのご意見がありました。他の大学等でも同様に行っています。時間はかかりますが、受講生の出欠、学生の顔色や態度などの状況を見ています。例えば、10名位欠席したときがありましたが、すぐに事務局へ報告し、新型コロナウイルスのワクチン接種の副反応のためであることが分かりました。何かあったときに状況把握が行いやすいため、現在の対応を続ける予定です。</p>	

授業科目名：社会と福祉	授業コード：13060
担当教員氏名	相澤 出
<p>8コマという少ない時間のあいだで、社会福祉、社会保障の概説を、国試対策も見据えながらしなければならぬため、かなりの密度のある講義でしたが、受講者の多くの人たちが積極的に受講していました。講義で改善してほしいこととして複数の受講者から、スライドの文字の小ささの問題、講義の進み方がいささか速いとの問題があげられていました。文字のサイズは、もう少し文字サイズを大きくするなど工夫をしていきます。講義のスピードの速さについては、これは申し訳ないのですが、なかなか改善が難しいのです（なんせ8コマという非常に少ない時間に、社会福祉の幅広い内容を概説しなければならないので）。それでも、少し講義のスピードを落とすように努めてみます。</p>	

授業科目名：がん看護論	授業コード：32110
担当教員氏名	石井 真紀子
<p>皆さんの評価から、授業資料について改善の余地があると考えました。写真や動画、場合によっては実物を取り入れて、より皆さんの理解が進み有意義な授業となるように検討します。また「がん終末期」の内容を要望する意見もありましたが、これについては「エンドオブライフ・ケア論」で取り上げていますので、そちらで学びを深めて欲しいです。</p> <p>全科目平均や専門科目平均と比較して概ねスコアが高かったことから、これを励みに「がん看護論」の授業概要や到達目標に沿った、授業を検討し熱意をもって展開していきたいと考えています。</p>	

授業科目名：小児看護技術論	授業コード：32230
担当教員氏名	下野純平、濱中喜代、秋本和宏、遠藤麻子
<p>授業評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。</p> <p>授業内容に関しては、小児の特徴をより理解していただくために、一般的な知識を確認したうえで小児の特徴を教示するという授業構成にしております。この点に関しては、第1回目授業時のオリエンテーションでも伝えております。しかし現在の方法では、アンケート回答にもある通り、理解しやすいと感じてくださる一方で、授業内容の量が多いと感じる方がいらっしゃると思います。今後、アンケート結果を基に、次年度の授業内容の構成を検討していきたいと思います。</p> <p>課題に関しては、本科目として適切な量・質のものを検討し、学生の皆様がスケジューリングしやすいよう、第1回目授業時のオリエンテーション時に全課題を提示しております。しかし、提出された課題の多くが、教員が求めている以上のものであり、学生の皆様が真摯に課題に向き合ってくださった結果、課題に多くの時間を要し、負担を感じてしまったのだと思います。このことを踏まえ、次年度の課題を検討していきます。</p>	

授業科目名：精神看護技術論	授業コード：32270
担当教員氏名	長南幸恵
<p>精神看護実習を想定し、受け持つ可能性の高い疾患を事例として選定しています。授業時間内に取り組めるよう配慮しています。前期は、授業期間が短いので、知識を得ながら実習準備性が高まる授業内容を考えていきたいと思います。</p>	

授業科目名：母性看護技術論	授業コード：32190
担当教員氏名	江守陽子、大谷良子、佐藤恵
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の授業評価を受け、演習前のデモンストレーションを追加しました。デモンストレーション自体へのコメントはありませんでしたが、評価結果より、イメージしやすい状況になっていたと考えました。</li> <li>・動画が好評ですので、継続していきたいと考えます。</li> <li>・演習に教員がいることが多かったので、看護過程論の演習でも教員がつけるよう工夫が必要と考えます。</li> <li>・看護過程については、グループワーク+各自がアセスメントシートおよび看護計画表を完成するというワークをしたことで、理解につながりやすかったのではと考えます。</li> <li>・看護過程の全体時間は限られているので、その中での説明・グループワーク・個人ワークの時間配分や課題提示方法などさらに検討します。</li> <li>・事前の提示については早めの提示を心がけたいと思います。</li> </ul>	

授業科目名：ヘルスプロモーション論	授業コード：23030
担当教員氏名	鈴木るり子
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業に皆さんは真剣に取り組んでいました。</p> <p>授業評価では概ね満足できていない結果でした。次年度の改善策として、ヘルスプロモーションの概念や行動戦略の習熟度が低いことから、シラバスのGWについては事前課題を出し、自己学習して臨める内容にしたいと考えています。</p>	

授業科目名：公衆衛生学・疫学	授業コード：23060
担当教員氏名	立身政信
<p>学生諸君の「公衆衛生学・疫学」に対する満足度は、比較的高く評価されたことに安堵しています。しかし、「自己学習」「積極的な発言」「授業を受けるマナー」などの、学生自身の取り組みの評価点が低かったのは残念でした。</p> <p>普段から政治・経済を含めた社会情勢に関心を持ち、地理的・歴史的な観点から思考することを大切にして、公衆衛生に対する積極的な態度を見につけることを期待したいと思います。</p>	

授業科目名：災害援助論	授業コード：23070
担当教員氏名	鈴木るり子
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業に皆さんは真剣に取り組んでいました。</p> <p>授業評価では概ね満足できていない結果でした。次年度の改善策として、シラバス内容を講義初日に周知する。特に、GWについては事前課題を出し、自己学習して臨める内容にしたいと考えています。</p>	

授業科目名：在宅看護学概論	授業コード：41010
担当教員氏名	大沼由香
<p>学生授業アンケート評価は受講学生 60 名中、回答者数 41 名、回答率 68%でした。総合評価は 3.90 と高評価でした。1.学生自身の取り組みは 3.91 で、最も評価が高かったのは、「授業を受けるマナーを守れた」3.98、「意欲的に授業に参加した」3.95 でした。授業に熱心に取り組んでいただきありがとうございました。2.授業内容については 3.88 で、最も評価が高かったのは「教員の話し方は適切か」3.93、「課題やレポートと授業内容の関係」3.88、「発言や質問の機会」が 3.88 でした。3.授業の</p>	

技法は 3.85 で、最も評価が高かったのは「教員の熱意を感じられた」3.95、「この科目で得たものは多かった」3.90 でした。自由記載でも、話が分かりやすい、在宅看護への関心の高まり等が多く記載され、映像や事例が豊富で飽きずに聴講できたことが書かれておりました。一方もっとも低い評価は「テキストと資料の活用」で 3.76 でした。教科書を中心とした授業について、教科書を使うので復習しやすい、重要点がわかりやすいという記載がある反面、授業スライドを全部配布してほしいとの要望もあり評価がわかれていました。スライドの解像度等、見やすくなるように調整に努めます。テキストをフル活用することで後々見返していただけたらと考えており、配布資料は最小限としております。授業のまとめを最終回で行いますので、要点を確認してください。

授業科目名：看護教育論	授業コード：43070
担当教員氏名	江守陽子、土田幸子、石井真紀子
<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護教育や看護の歴史の変遷についてわかりやすく説明します。</li> <li>・教育とは何かについて、学修を深めます。</li> <li>・看護教育と医療政策との関係を説明します。</li> <li>・教育の評価やカリキュラムの成り立ち、職業教育の特徴について説明します。</li> <li>・看護の基礎教育、卒後教育、継続教育等の関係について説明します。</li> </ul>	

授業科目名：公衆衛生看護管理論	授業コード：42040
担当教員氏名	鈴木るり子
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業に皆さんは真剣に取り組んでいました。</p> <p>2021 年度前期の時間割が土曜日 4 コマの授業もあり、過密でした。授業評価では概ね満足できていた結果でしたが、次年度の改善策として、講義内容を自己学習に取り組める内容を増やしていきたいと考えています。特に、公衆衛生看護活動に必須である政策提言について強化し、総合実習に結び付けられる内容にしていきたいと考えています。</p>	

授業科目名：公衆衛生看護技術論	授業コード：42030
担当教員氏名	鈴木るり子
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業に皆さんは真剣に取り組んでいました。</p> <p>2021 年度前期の時間割が 4 月 1 日からスタートし、毎土曜日 4 コマの授業を開始することになった。このことが授業評価で最も評価が低かった「課題の多さ」に現れていると考えている。</p> <p>そのため、改善策として次年度は、土曜日の授業開講は原則しない方向で考えています。</p>	

授業科目名：災害看護論	授業コード：43050
担当教員氏名	鈴木るり子
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業に皆さんは真剣に取り組んでいました。</p> <p>授業評価では概ね満足できていない結果でした。次年度の改善策として、シラバス内容を成績評価項目も含め、講義初日に周知する。GWについても、事前に自己学習して臨める内容にしたいと考えています。</p>	

授業科目名：在宅看護技術論	授業コード：41040
担当教員氏名	大沼由香
<p>学生授業アンケート評価は受講学生 68 名中、回答者数 40 名、回答率 59%でした。総合評価は 3.74 (93.5/100) と高評価でした。1.学生自身の取り組みは 3.86 で、最も評価が高かったのは、「授業を受けるマナーを守れた」3.90、「学生としての役割を果たす」3.90 でした。授業に熱心に取り組んでいただきありがとうございました。2.授業内容については 3.71 で、最も評価が高かったのは「授業のテキストや資料の活用」3.78、「教材の使い方」3.75 でした。3.授業の技法は 3.75 で、最も評価が高かったのは「教員の熱意を感じられた」3.85、「この科目で得たものは多かった」3.75 でした。自由記載では、在宅看護過程の展開方法がわかった、視野が広がった、教員の熱意がよかった等が多くみられました。一方もっとも低い評価は「授業科目の満足」3.60 でした。改善点についての自由記載では、ロールプレイ時の教員間の指導の不一致への指摘が多くありました。大変申し訳なく思っております。私の着任と同時に始まった授業でしたので、教員間で十分な情報共有ができなかったことが原因です。次年度以後は改善できると思います。</p>	

# 授業評価アンケート

【科目名: 大学で入力】【授業コード: 大学で入力】

この授業評価は、本学の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものです。学生の皆さんからのご意見を取り入れるためにご協力をお願いします。なお、このアンケートは成績評価等には一切影響ありません。

\* 教員が複数で担当している場合は概ねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。

1. 学生自身の取り組み	はい			いいえ
1) 意欲的に授業に参加しましたか	4	3	2	1
2) 授業の予習・復習などの自己学習をしましたか	4	3	2	1
3) 学生としての役割(積極的な発言、協調性等)は果たせましたか	4	3	2	1
4) 授業を受けるマナー(遅刻、居眠り、私語、携帯電話等をしないこと)を守れましたか	4	3	2	1
2. 授業の内容について				
1) 授業の内容は量的に適切でしたか	4	3	2	1
2) 授業前後の課題の量は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業科目の難易度はあなたにとって適切でしたか	4	3	2	1
4) 毎回の授業のねらいは明確でしたか	4	3	2	1
5) 毎回の授業の内容は興味・関心が持てるものでしたか	4	3	2	1
6) 授業を受け満足感がありましたか	4	3	2	1
3. 授業の技法について				
1) 教員の話し方は適切でしたか	4	3	2	1
2) 教材(視聴覚教材を含む)や板書の使い方は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業のテキストや資料の活用は適切でしたか	4	3	2	1
4) 課題やレポートと授業内容の関係は適切でしたか	4	3	2	1
5) 発言や質問の機会は適切でしたか	4	3	2	1
6) 教室等の環境、整備は適切にされていましたか	4	3	2	1
4. 総合評価				

1) 教員の熱意を感じられましたか	4	3	2	1
2) あなたはこの授業科目の到達目標を達成できたと思いますか	4	3	2	1
3) この授業科目で得たものは多かったと思いますか	4	3	2	1
4) 総合的に考えてこの授業科目に満足できましたか?	4	3	2	1

この授業科目を履修して、よかったと思う点を、その理由とともに書いてください。

この授業科目を履修して、今後改善してほしいと思う点を、その理由とともに書いてください。

ご協力ありがとうございました。

## 授業改善報告書

授業科目名：	授業コード：(FD 担当者が記入します)
担当教員氏名	
開講年度・時期	令和 3 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・通年 (どれか1つを○で囲む)
1. 学生に対する回答 (改善策) (受講した学生に向けて記述をお願いします。こちらは原文のまま公開します。)	
2. 受講している学生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等 (FD 委員会宛)	

令和3年11月19日までにご返送願います。